

中央区コインオペレーションクリーニング営業施設に係る衛生指導要綱

(目 的)

第 1 条 この要綱は、中央区におけるコインオペレーションクリーニング営業施設に係る構造設備基準、衛生管理及び当該施設の適切な利用方法等の周知に関し、営業者が遵守すべき措置等を定めることにより、コインオペレーションクリーニング営業施設の適正な管理運営を図り、もって公衆衛生の維持及び向上に資することを目的とする。

(定 義)

第 2 条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意味は、当該各号に定めるところによる。

- 一 コインオペレーションクリーニング 洗濯機、乾燥機等洗濯に必要な設備（共同洗濯設備として病院、寄宿舍等の施設内に設置されているものを除く。）を設け、これを公衆に利用させる営業をいう。
- 二 営業者 コインオペレーションクリーニングの業を営むものをいう。
- 三 営業施設 営業者が、コインオペレーションクリーニング業を営むために設ける施設をいう。

(構造設備等の基準)

第 3 条 営業施設の構造設備は、次の各号に掲げるところに従い措置するものとする。

- 一 隔壁等により外部と区分するとともに、外部からの見通しが容易な構造で、かつ居住施設及びその他の施設と区画すること。
- 二 洗濯機、乾燥機及びその他附帯設備並びにこれらの設置機器に応じた利用者数を勘案し、利用者の作業等に支障のない広さを有すること。
- 三 適正な採光、照明を保ち、換気が十分行える構造とすること。
- 四 乾燥機、給湯設備及びその他の設備により発生する燃焼ガスを戸外に排出できる構造とすること。
- 五 床及び腰張りは、不浸透性材料を使用すること。また、床面は、排水のための適正な勾配を保つとともに排水口を備え、清掃が容易な構造とすること。
- 六 流水式手洗設備を備えること。
- 七 水洗いにより洗濯する機械（以下「ランドリー用洗濯機」という。）を設置する場合は、可能な限り給湯設備（6 0℃以上の給湯が可能なもの。）を備えること。
- 八 有機溶剤を用いて洗濯する機械（以下「ドライクリーニング用洗濯機」という。）を設置する場合は、次の設備を設置すること。
 - ア ドライクリーニング用洗濯機は密閉式とし、かつ、有機溶剤回収装置付きのものとする。
 - イ 営業施設内の適正な位置（周辺に及ぼす影響を十分配慮すること。）に、換気設備を備えること。
- 九 便所を設置する場合は、洗濯を行う場所と隔壁等により区画すること。
- 十 直接洗濯に関係のない設備（例 食品自動販売機等）を設置する場合は、利用者の洗濯作業に支障のない場所に設置すること。
- 十一 廃棄物を収納する専用容器を備えること。

(衛生管理責任者等)

第 4 条 営業者は、営業施設を衛生的に管理するため、次に掲げるところにより、営業施設ごとに衛

生管理責任者を置くものとする。

- 一 衛生管理責任者は、当該営業施設又は近隣に常駐し、必要があれば直ちに当該営業施設の管理業務に従事できる者とする。
 - 二 衛生管理責任者は、営業施設の衛生確保に必要な措置を講ずるとともに、利用者に対し、第6条各号に掲げる事項に関し、適切な指導・助言を行える者とする。
- 2 営業者は、ドライクリーニング用洗濯機を設置する場合には、次に掲げるところにより、前項に定める衛生管理者のほか有機溶剤管理責任者（衛生管理責任者が兼ねることを妨げない。）を置くものとする。
- 一 有機溶剤管理責任者は、有機溶剤の性質及び取扱い等に関する知識、技能を有する者とする。
 - 二 有機溶剤管理責任者は、洗濯機中の溶剤の調整、気化溶剤の漏出防止及び点検、有機溶剤の管理並びに室内環境の適正な維持に必要な業務を行える者とする。
- 3 営業者は、前2項に定める衛生管理責任者並びに有機溶剤管理責任者の氏名及び連絡先について、営業施設内の見やすい場所に掲示し、利用者の要請に速やかに対応できる態勢を整える者とする。

（衛生上の措置）

第5条 営業者は、営業施設に係る衛生上の管理運営に関し、次の各号に掲げる措置を遵守するものとする。

- 一 毎日清掃を行い、清潔の保持に努めること。
- 二 常に排水が良好に行われるよう保持すること。
- 三 ねずみ、昆虫等が生息しない状態を保持すること。
- 四 常に300ルクス以上の照度を保つような採光、照明の確保に努めること。
- 五 炭酸ガス濃度 1,000PPm 以下、一酸化炭素ガス 10PPm 以下に保つよう換気に努めること。
- 六 換気設備の点検・清掃を適宜行うこと。
- 七 洗濯機、乾燥機等の機械設備の保守点検を行い、常に正常に作動するよう整備すること。
- 八 洗濯物が接触する洗濯機、乾燥機及び容器等の内面並びに利用者が触れる洗濯機及び乾燥機のふた、扉の取っ手について洗浄又は清掃を行うとともに、塩素剤、界面活性剤等の消毒液を用い適宜消毒を行うこと。
- 九 洗濯機の回転翼及び乾燥機のフィルターの洗浄を行い、糸くず、その他の汚物の除去に努めること。
- 十 乾燥機の乾燥温度が、所定の温度（通常60℃以上）を維持できるよう常に点検し、事故防止に努めること。
- 十一 手洗い及びランドリー用洗濯機の用水は、常に正常な水を供給すること。
- 十二 ドライクリーニング用洗濯機を設置する場合には、次に掲げる措置を講じること。
 - ア 洗浄効果を保持するため、清浄な有機溶剤を使用するとともに、適正な溶剤濃度の調整に努めること。
 - イ 常に清浄な溶剤が供給できるようフィルターは、適宜新しいものと交換すること。
 - ウ 使用済みのフィルターを廃棄する場合は、専用のふた付き容器に収納し処理すること。
 - エ 洗濯物の出し入れ口の扉のパッキング部分から漏出等、洗濯機からの有機溶剤の漏出を防ぐよう常に点検整備に努めること。
 - オ 使用済み有機溶剤の回収に努めること。
 - カ 有機溶剤は、密閉容器に入れ、専用の保管庫に収納し、施錠の上保管すること。
 - キ 清掃用具及び消毒薬品類は、専用の場所又は容器で保管すること。

（利用方法等の周知）

第6条 営業者は、次の各号に掲げる事項について、営業施設の見やすい場所に掲示し、利用者に周

知らせるよう努めなければならない。

- 一 洗濯機、乾燥機、給湯設備等各設備の使用方法等に関する事。
- 二 衣料等洗濯物の種類、素材に応じた洗濯の方法、乾燥の可否及びその他注意すべき事項に関する事。特に、油の付着した洗濯物の乾燥について、次に掲げる注意事項を表示すること。
 - ア 事前に油を十分除去すること。
 - イ 過度の詰め込み、過度の乾燥をしないこと。
 - ウ 乾燥させた洗濯物は、十分放熱した後収納すること。
- 三 ドライクリーニング用洗濯機を設置する場合は、使用有機溶剤の種類、性質及び身体の影響に関する事。
- 四 洗濯前後の手指の洗浄等に関する事。
- 五 営業施設の汚損防止に関する事。
- 六 伝染性疾病に罹患した者及びこれに接触した者が着用した衣類等の洗濯の禁止に関する事。
- 七 し尿の付着したおむつ、運動靴、動物の敷物等の洗濯物の洗濯の禁止に関する事。ただし、これらの洗濯物を専用に洗濯するための洗濯機を設置する場合は、その旨の記載に関する事。
- 八 その他営業施設の衛生維持及び安全確保のため、利用者の協力を要請すべき事項に関する事。

（営業施設の届出等）

- 第7条 営業者は、営業施設を開設したときは、当該営業施設を管轄する保健所長あて、別記第1号様式による開設届を速やかに提出しなければならない。
- 2 営業者は、前項の届出事項に変更を生じたとき、又は営業施設を廃止したときは、当該営業施設を管轄する保健所長あて、別記第2号様式による変更届又は別記第3号様式による廃止届を速やかに提出しなければならない。
 - 3 保健所長は、別記第4号様式による営業施設台帳を作成し、これを整理保管するものとする。

附 則

この要綱は、昭和59年7月1日から施行する。

附 則（平成12年4月1日11中総第1201号）

- 1 この要綱は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 この要綱の施行の際、この要綱による改正前の要綱等（以下「改正前の要綱等」という。）の規定による登録証、利用券、許可書その他これらに類するもので、現に効力を有するものは、この要綱による改正後の要綱等の規定によるものとみなす。
- 3 この要綱の施行の際、改正前の要綱等の規定により作成した様式で、現に残存するものは、なお、使用することができる。

附 則（令和3年12月21日3中福衛第467号）

- 1 この要綱は、令和4年1月1日から施行する。
- 2 この要綱の施行の際、この要綱による改正前の中央区コインオペレーションクリーニング営業施設に係る衛生指導要綱の規定により作成した様式で、現に残存するものは、所要の修正を加え、当分の間、なお、使用することができる。

年 月 日

保健所長 殿

住所

営業者 氏名

電話 ()

法人の場合は、その所在地、
名称及び代表者氏名

コインオペレーションクリーニング営業施設開設届

下記のとおり開設したので、東京都中央区コインオペレーションクリーニング営業施設の衛生指導
要綱第7条第1項の規定により届け出ます。

記

1 営 業 施 設 の 名 称

所在地

電話 ()

2 衛 生 管 理 責 任 者 氏 名

住所

電話 ()

3 有 機 溶 剤 管 理 責 任 者 氏 名

住所

電話 ()

4 施設の管理状況 常駐 非常駐

5 開設年月日 年 月 日

6 構造設備の概要 別紙のとおり

7 付近見取図及び洗濯機等の配置図 別紙のとおり

年 月 日

保健所長 殿

住所

営業者 氏名

電話 ()

法人の場合は、その所在地、
名称及び代表者氏名

コインオペレーションクリーニング営業施設変更届

下記のとおり変更したので、東京都中央区コインオペレーションクリーニング営業施設の衛生指導要綱第7条第2項の規定により届け出ます。

記

1 営業施設の名称及び所在地

2 変更事項

旧

新

3 変更年月日

添付書類 構造設備の変更の場合は、その説明図

年 月 日

保健所長 殿

住所

営業者 氏名

電話 ()

法人の場合は、その所在地、
名称及び代表者氏名

コインオペレーションクリーニング営業施設廃止届

下記のとおり変更したので、東京都中央区コインオペレーションクリーニング営業施設の衛生指導
要綱第7条第2項の規定により届け出ます。

記

1 営業施設の名称及び所在地

2 廃止年月日

コインオペレーション営業施設台帳

No. _____

施設	名 称		開設年月日	年 月 日
	所在地		作成年月日	年 月 日
営業者	氏 名		電 話	()
	住 所		管理状況	常駐 非常駐
衛生管理責任者	氏 名		電 話	()
	住 所		管理状況	常駐 非常駐
有機溶剤管理責任者	氏 名		電 話	()
	住 所		管理状況	常駐 非常駐
[変更事項等]			[洗濯機等の配置図]	
年 月 日				
・ ・ ・				
・ ・ ・				
・ ・ ・				
・ ・ ・				

(裏)

施設の概要	施設の面積	m ²		
	他の用途との区画	板、ガラス戸、壁、その他（ ）、無		
	床材	コンクリート、タイル、板、その他（ ）		
	腰壁	コンクリート、タイル、板、その他（ ）		
	照明	蛍光灯 W 個、普通の電燈 W 個、		
	換気設備	有（換気扇… φ cm 台）、無、その他（ ）		
	使用水	水道水、井水、その他（ ）	排水	公共下水道、その他（ ）
	手洗設備	有 、 無	給湯設備	有、（ ）、無
洗濯機等	水洗用洗濯機	台	乾燥機	台（ガス・電気）
	ドライ用洗濯機	台	使用溶剤	パークロルエチレン・石油系溶剤・その他（ ）
		気化溶剤の回収装置		有 ・ 無
		有機溶剤の保管場所		有 ・ 無 その他（ ）
その他	緊急連絡用設備	有（電話・ブザー・その他… ）、無		
	洗剤の販売	有 ・ 無	ごみ容器	有 ・ 無
	清掃用具等の保管庫	有 ・ 無 ・ その他（ ）		
	衛生管理責任者の連絡先の掲示	有 ・ 無		

(ビジブル形式)